

高齢の方のためのアンケート調査にご協力をお願いいたします



事業者の皆様には、日頃より高齢者福祉行政にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

小金井市は、高齢の方が健康で住み慣れた地域で安心して住み続けることができるまちを目指して、「小金井市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画」の策定を予定しています。この度、計画策定のためのアンケート調査を実施することとなりました。

ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年11月 小金井市

調査について

この調査は、これからの小金井市の高齢者保健福祉施策や、介護保険サービスを検討するうえでの重要な調査です。事業者の皆さまの状況を調べるとともに、皆さまのご意見やご要望をお伺いし、計画策定にあたって、できる限り反映いたします。原則として、事業所全体の状況を把握している方（管理者等）がご回答ください。

対象者

居宅介護支援事業所、介護予防支援事業所、居宅介護・介護予防事業所、施設サービス事業所の中から無作為に選ばれた事業所

回答期間

令和7年11月1日（土）～令和7年 **11月21日**（金）まで

※ 調査結果は、令和8年4月以降に市のホームページにて掲載予定です。

回答方法

WEBで回答する方法と、調査票に直接記入し郵送する方法のどちらかひとつをお選びください。

WEB



スマートフォンで右記の二次元コード、小金井市のホームページ、または、下記URLにアクセスし、ご回答ください。

QRコード

小金井市ホームページから
トップページ>健康・福祉>高齢者福祉>お知らせ>●●●

<https://sample.webcas.com/sample/sample/sample>

確認番号：123456

郵送

- ① 調査票に記入し、同封の封筒に入れてください。
- ② 切手を貼らずに、ポストに投函してください。



郵送でご回答の方へ：回答の記入方法

- あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- 「その他」に○をつけた方は、（ ）内に具体的にその内容をお書きください。

プライバシーの保護に万全を期しています

回答は、統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようなことは一切ございません。

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりです。

なお、本調査へのご回答をもって、下記について同意いただいたものとさせていただきます。

- この調査は、効果的な高齢者保健福祉・介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、小金井市において適切に管理いたします。

貴事業所についておたずねします

問1 組織形態についてお教えてください。(1つに○)

1. 社会福祉法人	7. J A ・ 生協
2. 社会福祉協議会	8. 株式会社
3. 福祉公社・事業団	9. 有限会社
4. (公益) 社団法人	10. N P O 法人
5. (公益) 財団法人	11. その他
6. 医療法人	〔具体的に： 〕

問2 活動状況についてお教えてください。

貴事業所の種類 (1つに○)	併設する事業所の種類 (いくつでも○)
1. 地域包括支援センター	1. 地域包括支援センター
2. 居宅介護支援	2. 居宅介護支援
3. 訪問介護	3. 訪問介護
4. (地域密着型) 通所介護	4. (地域密着型) 通所介護
5. (介護予防) 訪問入浴介護	5. (介護予防) 訪問入浴介護
6. (介護予防) 訪問看護	6. (介護予防) 訪問看護
7. (介護予防) 訪問リハビリ	7. (介護予防) 訪問リハビリ
8. (介護予防) 通所リハビリ	8. (介護予防) 通所リハビリ
9. (介護予防) 居宅療養管理指導	9. (介護予防) 居宅療養管理指導
10. (介護予防) 住宅改修・福祉用具	10. (介護予防) 住宅改修・福祉用具
11. (介護予防) 短期入所生活・療養介護	11. (介護予防) 短期入所生活・療養介護
12. 介護老人福祉施設	12. 介護老人福祉施設
13. 介護老人保健施設	13. 介護老人保健施設
14. 介護医療院	14. 介護医療院
15. (介護予防) 特定施設入居者生活介護	15. (介護予防) 特定施設入居者生活介護
16. (介護予防) 小規模多機能型居宅介護	16. (介護予防) 小規模多機能型居宅介護
17. 看護小規模多機能型居宅介護	17. 看護小規模多機能型居宅介護
18. 夜間対応型訪問介護	18. 夜間対応型訪問介護
19. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	19. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
20. (介護予防) 認知症対応型通所介護	20. (介護予防) 認知症対応型通所介護
21. (介護予防) 認知症対応型共同生活介護	21. (介護予防) 認知症対応型共同生活介護
22. 地域密着型特定施設入居者生活介護	22. 地域密着型特定施設入居者生活介護
23. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	23. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
24. 総合事業訪問型サービス (現行相当)	24. 総合事業訪問型サービス (現行相当)
25. 総合事業訪問型サービス (市基準)	25. 総合事業訪問型サービス (市基準)
26. 総合事業通所型サービス (現行相当)	26. 総合事業通所型サービス (現行相当)
27. 総合事業通所型サービス (市基準)	27. 総合事業通所型サービス (市基準)
	28. 特にない

介護保険外サービスについておたずねします

問3 貴事業所では、介護保険以外のサービスを提供していますか。(1つに○)

1. 提供している

2. 提供していない

問3-1 問3で「1. 提供している」と答えた事業所におたずねします。

具体的なサービス内容を記入してください。(いくつでも○)

1. 買い物代行／同行

2. 居住環境の整理整頓(片付け支援)

3. 外出・通院付き添い

4. 買い物・役所などの付き添い

5. 見守り(訪問・電話)

6. 趣味活動支援(音楽・園芸等)

7. 住宅の軽微な修繕や改修

8. 家族への介護相談支援

9. 理美容

10. その他

〔具体的に:

〕

問4 今後は介護保険外サービスの実施、またはその事業について拡充の予定がありますか。(1つに○)

1. 予定がある

2. 検討中

3. ない

4. まだわからない

問4-1 問4で「1. 予定がある」「2. 検討中」と答えた事業所におたずねします。具体的なサービス内容を記入してください。(いくつでも○)

1. 買い物代行／同行

2. 居住環境の整理整頓(片付け支援)

3. 外出・通院付き添い

4. 買い物・役所などの付き添い

5. 見守り(訪問・電話)

6. 趣味活動支援(音楽・園芸等)

7. 住宅の軽微な修繕や改修

8. 家族への介護相談支援

9. 理美容

10. その他

〔具体的に:

〕

サービスの向上に向けた取組をおたずねします

問5 現在、貴事業所では質の向上に対する取組をどのように行っていますか。

(いくつでも○)

1. 第三者評価の実施
2. 専門家、コンサルタントの活用
3. ISO等品質管理に関する認証取得
4. 苦情事例等の活用・蓄積
5. 事業所内での検討会
6. 手引書の作成と見直し
7. 外部研修会への出席
8. 人材の確保
9. スタッフの資格取得への支援
10. 事業者間の交流
11. 事業者連絡会への出席
12. 利用者調査の実施
13. 介護情報の公表
14. 職員の処遇改善
15. その他〔具体的に:

〕

問5-1 問5で「1. 第三者評価の実施」を選択しなかった事業所におたずねします。今後、第三者評価を実施する予定はありますか。(1つに○)

1. 実施の予定がある

2. 実施の予定はない

問5-2 問5-1で「2. 実施の予定はない」と答えた事業所におたずねします。その主な理由は次のうちどれですか。(1つに○)

1. 費用がかかりすぎるから
2. メリットがわからないから
3. 評価機関の選び方がわからないから
4. サービスの改善に結びつくかわからないから
5. その他〔具体的に:

〕

事業運営についておたずねします

問6 直前の決算年度の事業の採算はいかがでしたか。差し支えなければお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1. 黒字 | 2. 赤字 | 3. 損益なし |
|-------|-------|---------|

問7 貴事業所では、今後3年のうちに介護保険サービスの事業規模についてどのように考えますか。(1つに○)

- | | |
|---------|-----------------------|
| 1. 拡大予定 | 3. 縮小予定 |
| 2. 現状維持 | 4. 検討中・わからない(予測がつかない) |

問8 労働環境整備のためにどのような取組みが必要だと思いますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------------------|----------------|
| 1. 福利厚生充実 | 5. 労働条件改善・賃金 |
| 2. 柔軟な働き方の促進
(子育て支援、ワークシェアリング等) | 6. 労働条件改善・労働時間 |
| 3. 定期的な健康診断など | 7. その他 |
| 4. 精神面の健康管理(相談窓口等) | [具体的に:] |

問9 事務作業の負担感はどの程度ですか。(1つに○)

- | | |
|------------|----------|
| 1. とても重い | 4. 軽い |
| 2. 重い | 5. とても軽い |
| 3. どちらでもない | |

問10 生産性向上(労働時間短縮)のためにどのようなことに取り組まれていますか。
(いくつでも○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 業務効率化 | 5. 介護ロボットの導入 |
| 2. 人材育成 | 6. 働き方改革 |
| 3. 適切な人員配置 | 7. 何もしていない |
| 4. ITツールの活用 | 8. その他[] |

問11 運営上に必要な人材の確保ができていますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1. 十分できている | 2. できている | 3. できていない |
|------------|----------|-----------|

問12 人材対策で力を入れる必要があるものは何かありますか。(1つに○)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 人材の確保 | 2. 人材の育成 | 3. 人材の定着 |
|----------|----------|----------|

問13 人材確保のため今後どのような取組みが必要だと思いますか。(いくつでも○)

1. 新規採用枠の拡大	10. 苦情・相談体制の充実
2. 中途採用枠の拡大	11. 職員間の助け合い制度
3. 外国人の雇用	〔具体的に： 〕
4. 就業時間の見直し	12. OJTの仕組み
5. 福利厚生 of 充実	13. 同事業所内での人員確保
6. 賃金面の充実	14. 社外の協力体制の整備
7. 研修会への参加支援	15. 求人広告掲載
8. 資格取得の支援	16. その他
9. 新人育成の制度	〔具体的に： 〕

問14 事業所内での講習会・研修は十分実施できていると思いますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。(1つに○)

1. 十分実施できている	
2. 十分ではないが実施できている	
3. ほとんど実施できていない〔理由：	〕
4. その他〔具体的に：	〕

問15 外部の研修や事例検討、勉強会について職員が積極的に参加できるよう支援していますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。(1つに○)

1. 支援している	
2. 十分でないが支援している	
3. ほとんど支援していない〔理由：	〕
4. 支援したいができない〔理由：	〕
5. その他〔具体的に：	〕

問16 貴事業所の運営上の課題は何ですか。(いくつでも○)

1. 介護従事者に十分な賃金を払えない
2. 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している
3. 介護従事者の意欲や接遇に問題がある
4. 管理者の指導・管理能力が不足している
5. 教育・研修の時間が十分に取れない
6. 職員間のコミュニケーションが不足している
7. 利用者や利用者家族の介護サービスに対する理解が不足している
8. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない
9. 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われる
10. 収支や経営に関する知識が不足している
11. その他〔具体的に： 〕

医療と介護の連携についておたずねします

問17 在宅医療と介護の連携を円滑にするための仕組みづくりのために、どのようなことが必要だとお考えですか。（いくつでも○）

- | | |
|---|---|
| 1. 他職種との顔の見える関係づくり、交流を進める
2. 「ケアマネタイム」の充実を図る
3. 在宅医療・介護連携支援室の活動を充実させる
4. 医療と介護の連携シート（主治医連絡票等）を活用する
5. 入退院時に関する医療と介護の連携方法を明確にする
6. ICTの利活用を推進する
7. 医療・介護の相互理解・連携のための専門研修を増やす
8. その他〔具体的に： | 〕 |
|---|---|

問18 小金井市民の在宅療養者への医療・介護は、サービス担当者会議などを通じて連携していると思いますか。（1つに○）

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 十分連携している | 3. 連携が不十分である |
| 2. ある程度連携している | 4. ほとんど連携していない |



問18-1 問18で「3. 連携が不十分である」または「4. ほとんど連携していない」と答えた事業所におたずねします。

そのように考える理由は何ですか。（いくつでも○）

- | | |
|--|---|
| 1. 医学知識や医療制度がわからない
2. お互いに多忙で連絡がとれない
3. 個人情報の保護の観点から情報が共有されない
4. 交流の場がない
5. 誰と連絡をとればいいのかわからない
6. 医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している
7. その他〔具体的に： | 〕 |
|--|---|

問19 貴事業所では、サービス利用者の医学的な情報を十分把握していますか。

（1つに○）

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 十分把握している | 3. あまり把握していない |
| 2. ある程度把握している | 4. ほとんど把握していない |

問20 一般に医療機関やかかりつけ医（主治医）などとの連携がとりにくいと言われていますが、その主な理由をどのようにお考えですか。（いくつでも○）

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. 医療機関やかかりつけ医（主治医）が多忙で、理解が得にくい | 3. 連携のとり方がわからない |
| 2. 医療側に体制が整っていない | 4. 必要性を感じない |
| 5. その他〔具体的に： | 〕 |

認知症の介護支援についておたずねします

問21 認知症の利用者の状況で、実際に大変だったのは次のどれですか。
(いくつでも○)

1. 本人や家族が医療機関を受診しない	7. 適切なサービスが受けられない
2. 本人の意思の確認が取れない	8. 消費者被害に遭遇している
3. 家族が認知症であることを認めない	9. 虐待を受けている
4. 服薬管理ができない	10. 本人や家族間で介護の方針が食い違う
5. サービス拒否がある	11. 身体疾患があり医療的な管理が難しい
6. 症状が急変して緊急対応が必要になる	12. その他〔具体的に： 〕

問22 これから、認知症の方の支援にあたり必要になると思うのは次のどれですか。
(いくつでも○)

1. 状態に応じた適切なサービス提供の内容が示されること
2. 社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと
3. 早期診断を担う医療機関が増えていくこと
4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること
5. かかりつけ医やケアマネジャー等の認知症に対する理解と対応力が向上すること
6. 地域包括支援センターにおける認知症の地域支援が充実していくこと
7. 地域ケア会議など専門的な支援体制が充実すること
8. 認知症の方や家族支援が充実していくこと
9. その他〔具体的に：

問23 貴事業所では、認知症の方へのケアに関する地域の拠点としてどのような機能を担っていますか。(いくつでも○)

1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施
2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動
3. 地域の見守りネットワークへの参画
4. 認知症の方の家族への相談支援
5. ボランティア組織への支援
6. 在宅で生活する認知症の方に対するショートステイの紹介
7. 在宅で生活する認知症の方・家族のための日中の居場所の提供
8. その他〔具体的に： 〕
9. 特にない

1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施 2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動 3. 地域の見守りネットワークへの参画 4. 認知症の方の家族への相談支援 5. ボランティア組織への支援 6. 在宅で生活する認知症の方に対するショートステイの紹介 7. 在宅で生活する認知症の方・家族のための日中の居場所の提供 8. その他〔具体的に： 〕 9. 特にない
--

2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動

3. 地域の見守りネットワークへの参画

4. 認知症の方の家族への相談支援

5. ボランティア組織への支援

6. 在宅で生活する認知症の方に対するショートステイの紹介

7. 在宅で生活する認知症の方・家族のための日中の居場所の提供
8. その他〔具体的に： 〕

8. その他〔具体的に： 〕

9. 特になし

1
1
1

→ 問 23-1 問 23 で「2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動」と答えた事業所におたずねします。

具体的にどのような活動を行っていますか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. サポーター養成研修の実施 | 4. 地域住民の活動の支援 |
| 2. 認知症カフェの実施 | 5. その他 |
| 3. 講習会の開催等学習機会の提供 | 〔具体的に： 〕 |

問24 貴事業所では、認知症の方の支援にあたっては、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. とれている | 3. あまりとれていない |
| 2. ある程度とれている | 4. とれていない |

問25 「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容についてご存じですか。(1つに○)

- | |
|------------------------|
| 1. 内容を含めて知っている |
| 2. 言葉は聞いたことがあるが内容は知らない |
| 3. 知らない |

※新しい認知症観とは、認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になっても、一人ひとりが個人としてできることややりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間などとながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

問26 「新しい認知症観」を広めるためにどのような取組が必要だと思いますか。(いくつでも○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 認知症に関する正しい知識を広める教育・啓発活動の強化 |
| 2. 医療・介護現場での新しい認知症観に基づいたケアの普及 |
| 3. 認知症カフェなど、地域の交流拠点の設置・活用 |
| 4. 認知症の人が働きやすい環境の整備等企業・職場での取組 |
| 5. ピアサポート活動等の当事者の声を反映する活動 |
| 6. その他 () |

災害時の体制についておたずねします

問27 貴事業所では災害時に備えてどの程度、地域と連携していますか。

(いくつでも○)

1. 町会・自治会と防災協定を結んでいる
2. 町会・自治会と合同で避難訓練を行っている
3. 介護保険や認知症高齢者などについてリーフレットを作成し地域に配布している
4. 地域のまつりや行事に参加している
5. 事業所内の行事への参加を地域にPRしている
6. その他〔具体的に： 〕

その他・市への要望についておたずねします

問28 今後、保険者としての小金井市に対し、事業者として望むことは次のうちどれですか。(いくつでも○)

1. 介護保険に関する情報提供、研修の実施
2. 質の向上のために事業者が行う研修への支援
3. 不正な事業所への指導
4. 利用者への適正なサービス利用の啓発
5. 地域包括支援センター機能の充実
6. 制度運営における保険者判断部分の周知
7. 人材対策
8. その他〔具体的に： 〕
9. 特にない

問29 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報などがありましたら、ご自由にお書きください。

———ご協力ありがとうございました———